



事務局：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578

E-mail jimuj@jaeis.org http://jaeis.org/

新しい学習指導要領と情報モラル

千里金蘭大学 高橋 参吉

昨年（2008年）の末、2008年12月22日に、高等学校の学習指導要領が公表された。情報モラルに関しては、普通教科「情報」の「社会と情報」、「情報の科学」の両科目に、内容に「情報モラル」が項目立て（大項目）がされている。この情報モラルの指導については、考えさせる活動を多く入れるなどして、様々な場面において、適切な行動がとれる実践的な能力や態度を育成する指導を充実するとされている。

また、学習指導要領の総則（教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項）には、『各教科・科目等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加えて視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。』のように記述されている。小学校・中学校の学習指導要領の総則においても、同じ様に、「情報モラルを身に付け」という表現が新たに付け加わっている。このように、小学校、中学校、高等学校を通じて、各教科・科目等の指導に当たって、情報モラルを身に付けさせる学習活動が重視されている。情報モラルの指導は、生徒指導とも密接に関係しており、情報科教員だけでなく、すべての教員にも重要な問題でもある。

一方、平成20年1月の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/newcs/news/20080117.pdf pp.65-66）において、次のように記述されている。

- ・小学校段階では、各教科等において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの積極的な活用を通じて、その基本的な操作の習得や、情報モラル等に係わる指導の充実を図る。
- ・中学校段階では、各教科等において、小学校段階の基礎の上に、コンピュータや情報通信ネットワークなどを主体的に活用するとともに、情報モラル等に関する指導の充実を図る。
- ・高等学校段階では、各教科等において、小学校及び中学校段階の基礎の上に、コンピュータや情報通信ネットワークなどを実践的に活用するとともに、情報モラル等についての指導の充実を図る。

なお、情報モラル等については、『ネットワーク上のルールやマナー、危険回避、個人情報・プライバシー、人権侵害、著作権等に対する対応や、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりなどを含める。』とされている。ここで、注目すべきは、情報モラルに関しては、小学校は「情報モラル等に係わる指導」、中学校は「情報モラル等に関する指導」、高等学校は「情報モラル等についての指導」のように、微妙に表現が異なることである。高等学校では、上記の「情報モラル等」の内容についての指導が求められていると考えられる。

このように、小学校段階から、情報モラルの指導が重要視されているが、高等学校では、教科「情報」で、具体的にどのような内容で指導を行うのか、本学会でも、研究会や全国大会などで、引き続き、議論していく必要があると思われる。

本号目次

新しい学習指導要領と情報モラル・・・・・・・・・・	1	近畿北陸地区研究会のご案内・・・・・・・・・・	3
第2回全国大会のご案内・・・・・・・・・・	2	編集委員会からのお知らせ・・・・・・・・・・	3
学会記念シンポジウムのご報告・・・・・・・・・・	2	新入会員リスト・・・・・・・・・・	4
高校教科「情報」シンポジウムのご報告・・・・・・・・	2		

日本情報科教育学会第2回全国大会のご案内

第2回全国大会が九州工業大学で開催されることが決まりました。基本的なスケジュールが決まりましたのでお知らせ致します。多くの皆様に全国大会に参加していただきますようお願い致します。本大会のテーマは『新しい情報科教育の内容と方法』で、情報科教育の現状を踏まえつつ、次期の情報科教育を展望する内容にしたいと思えます。

日時：2009年6月27日（土）・28日（日）

場所：九州工業大学情報工学部（福岡県飯塚市川津680-4）

研究発表の申込期限：4月22日（水）

講演要旨（論文集原稿）の提出期限：5月20日（水）

一般参加の申込期限：5月20日（水）

日本情報科教育学会記念シンポジウムのご報告

日本情報科教育学会の設立1周年を記念して、2008年12月21日（日）に東京学芸大学で記念シンポジウムが開催されました。年末の忙しい時期にもかかわらず、約70名の参加があり、小・中学校の情報科教育を含め、今後の初等中等教育における情報科教育をテーマに、活発な討論が行われました。

14:00～14:30 岡本敏雄会長 挨拶

14:30～16:30 パネルディスカッション 司会：鹿野利春（石川県立金沢泉丘高等学校）

テーマ：「情報科は、高校のみの設置でよいか？」

第一部：小学校および中学校の情報教育の状況報告

第二部：指定討論者を交えてのパネルディスカッション

16:30～17:00 各研究部会での協議（分科会）

パネルディスカッションの第一部では、パネリストとして、佐藤幸江（横浜市立高田小学校）、西田光昭（柏市立田中小学校）、隆夫俊彦（富士・東部教育事務所）、三橋秋彦（墨田区立竪川中学校）の4人の先生が、小学校および中学校の情報教育の状況について報告されました。続いて、第2部では、原克彦（目白大学）、森本康彦（富士常葉大学）の指定討論者2人の先生を交えてのパネルディスカッションが行われ、小・中・高等学校における情報教育の課題について議論が行われました。その後、各研究部会での協議が行われました。



『高校教科「情報」シンポジウム九州 ジョーシン九州』のご報告

「高校教科「情報」シンポジウム九州 - ジョーシン九州 -」（情報処理学会情報処理教育委員会主催、日本情報科教育学会ほか共催）が10月26日（日）に、北九州市の西日本総合展示場で開催されました。シンポジウムのテーマは「情報教育における高大連携」。大学と高校間で連携して情報教育を実践している先生方による実践報告やパネルを中心に、下記のようなプログラムで開催しました。休日での開催でしたが50名近くがシンポジウムに参加し、高大連携による先進的な情報教育の報告に耳を傾けていました。

講演1 「情報教育とは」 雨宮真人（大阪工業大学）

講演2 「ユビキタス時代へのICT教育と高大連携事業」 中村隆敏（佐賀大学）

講演3 「情報関連授業を支援する高大連携による遠隔TAの取組みについて」

鷹岡 亮（山口大学）、渡辺芳雅（誠英高校）、片山美樹（誠英高校）

講演4 「専門教科情報に学んだ3年間」 倉光浩二（福岡県立修猷館高等学校）

講演5 「研修を活かした授業実践」 山下裕司（山口県立岩国高等学校）

パネル討論「高大連携」 コーディネーター： 渡辺健次（佐賀大学）

討論者：江副秀雄（福岡県教育庁教育振興部高校教育課）、下川俊彦（九州産業大学）

中村隆敏（佐賀大学）、藤本直樹（福岡県立宗像高等学校）



近畿・北陸地区研究会のご案内

情報コミュニケーション学会と共催で、近畿・北陸地区の研究会を開催します。情報コミュニケーション学会全国大会は、2月28日～3月1日に開催されますが、本学会は、28日の研究発表および企画セッションで共催します。

日時：2009年2月28日（土）9:00～17:10

会場：園田学園女子大学 30周年記念館（兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1）

交通：<http://www.sonoda-u.ac.jp/access2.html>

9:00～ 受付

9:30～10:30 研究発表（教科「情報」のセッション）

10:50～12:20 基調講演（情報コミュニケーション学会主催）

12:20～13:50 日本情報科教育学会 2008年度第4回理事会・評議会

14:00～17:10 企画セッション

司会 西野和典（九州工業大学）

前半）パネルディスカッション「新学習指導要領で教科「情報」をどう教えるか」

話題1：小中高の接続を考えた高校での情報モラルの取り扱い

鹿野利春（石川県立金沢泉丘高等学校）

話題2：実施する側の立場から見た新学習指導要領

佐藤万寿美（兵庫県立西宮今津高等学校）

後半）情報の科学的な理解促進に向けての実習教材の紹介

～パズルの解法を利用したプログラミング基礎の学習～

山上通恵（兵庫県立神戸甲北高等学校）

編集委員会からのお知らせ

1. 創刊号（Vol.1, No.1）の発行について（ご報告）

創刊号は、その会告（議事録）に掲載の通り、理事会・評議会（通算第4回、2008年10月5日開催）にて、編集委員会の構成（編集幹事会の設置を含む）とともに、創刊号発行に関わる諸事項が承認されたことに始まります。理事会決定後、発行までの期間は3ヶ月ほどしかありませんでしたが、予定通り、同年12月発行（翌年1月発送）となりました。

会員の皆様におかれましては、充分にご覧いただいて、デザインやレイアウト、構成、内容などについて、何でも結構です。遠慮なくご意見をお寄せ下さい。第2号に向けて参考にさせていただきます。

2. 第2号（Vol.2, No.1）の発行に向けて（ご協力を）

創刊号は、全て依頼原稿となりましたが、第2号からは、論文を募集して掲載する予定です。したがって、下記に示すように、投稿論文の受付方法や査読方法等に関わる種々の事項を早急に検討しなければなりません。

(a) 論文投稿システムの確立：論文投稿規定（詳細）の策定、論文投稿用紙の作成、論文投稿要領の作成、論文投稿方法の決定、…、等

(b) 査読システムの確立：査読者の選定と決定の方法、査読要領の作成、査読用紙の作成、査読結果の集約方法、掲載条件の決定、…、等

(c) 編集事務システムの確立：投稿の受付処理、査読者選定処理、投稿者へのフィードバック処理、…、等

(d) 編集幹事会、編集委員会の予算措置：編集幹事会の会議費・委員の旅費、その他編集処理にかかる費用、…、等

(e) その他：特集、一言、会告、広告など学会誌編集に関わる諸事項

第2号（Vol.2, No.1）の発行は、2009年12月を予定していますので、今後は、上記の諸事項を中心に検討し、解決を図る必要があります。この件につきましては、編集幹事会および編集委員会にて審議・決定することになりますが、会員の皆様からのご意見も積極的にいただきたいと思っております。

なお、論文募集のご案内は、6月頃に本学会のWebページ（<http://jaeis.org>）にてお知らせする予定です。

新入会員リスト

2007年12月の学会設立総会以後の新入会者を記載します。所属は入会時のものです。所属、会員種別など変更があれば、事務局まで、ご連絡ください。

(1) 新入会員

(2007年12月24日～2008年2月23日)

正会員22

正会員

眞壁 豊(山形短期大学)
吉田賢史(甲南高等学校・中学校)
中西崇(岡山県立津山東高等学校)
大西俊弘(龍谷大学)
石川顯法(法政大学女子高等学校)
中西祥彦(神戸常盤女子高等学校)
岡田裕子(純真短期大学)
星山博人(佐賀県立嬉野高等学校)
中西 渉(学校法人名古屋学院)
伊藤久泰(立命館慶祥中学校・高等学校)
和田祐二(東京都立大崎高等学校)
古家幸生(熊本県立千原台高等学校)
近藤敏文(愛知県立天白高等学校)
小林道夫(神奈川大学附属高等学校)
坂井貴行(兵庫県立豊岡高等学校)
益田吉基(滋賀県立東大津高等学校)
石井勝(北海道情報大学)
黒沢学(東京電機大学)
梅村匡史(札幌国際大学)
石附峰子(神奈川県立鶴見総合高等学校)
笹川清喜(渋谷教育学園幕張中学校・高等学校)
大矢一志(鶴見大学)

(2) 新入会員

(2008年2月24日～2008年6月29日)

正会員68名 学生会員6名

正会員

芝原 靖(岐阜県立高山西高等学校)
保田裕彦(山口県立下関工業高等学校)
新田雅道(小松短期大学)
藤岡健史(京都市立堀川高等学校)
上杉茂樹(宮城県立泉館山高等学校)
岡本恭介(朴沢学園明成高等学校)
吉成良子(兵庫県立鳴尾高等学校)
久米 出(奈良先端技術大学院)
藤井寿雄(兵庫県立尼崎稲園高等学校)
勝間田清一(明星学園高等学校)
春日井優(埼玉県立朝霞高等学校)
下倉雅行(大阪経済大学)
吉井千恵子(兵庫県立西宮北高等学校)
光永祐司(会津若松ザベリ才学園中学・高等学校)
西川 實(福岡県立田丸丸養護学校)
橋詰正治(日本大学)
畑井克彦(伊丹市立伊丹高等学校)
竹野英敏(茨城大学)
石原慎士(八戸大学)
木原尚美(愛知県立加茂丘高等学校)

竹内俊彦(茨城大学)
清水畑博((株)インタープレジेंट)
宇野 隆(名城大学)
森下伊三男(朝日大学)
大貫和則(茗溪学園)
隅田詠吉(津田学園高等学校・中学校)
木村彰宏(私立浅野高等学校)
阿南統久(茨城県立つくば工科高等学校)
遠藤洋子(東洋英和女学院)
原久太郎((株)イーテキスト)
成田雅博(山梨大学)
中村州男(京都情報大学院大学)
立野貴之(岡山県立大学)
高橋雅之(東北大学)
青木浩幸(高麗大学大学院)
梅津健志(明星大学)
前田勝利(北海道札幌東陵高等学校)
佐藤等史(関西学院大学)
永田奈央美(電気通信大学大学院)
内野智仁(東京福祉大学)
石井奈津子(芝浦工業大学)
西本実苗(関西学院大学)
辻 誠一(関西創価高等学校)
亀山弘(岐阜県教育委員会)
松永憲一(長崎県立佐世保南高等学校)
中林正樹(鳥取県立鳥取湖陵高等学校)
田井志保里(京都大学)
吉澤雄一(青山学院大学)
田邊則彦(慶應義塾湘南藤沢中学校・高等部)
江島徹郎(愛知教育大学)
広田高雄(大阪府立箕面高等学校)
東山喜一(大阪府立岬高等学校)
三輪智和(特定非営利活動法人学習開発研究所)
藤本直樹(福岡県立宗像高等学校)
菅谷克行(茨城大学)
渡辺博芳(帝京大学)
関口景美(北海道情報大学)
舟瀬純子(兵庫県立伊丹西高等学校)
竹中章勝(清教学園中・高等学校)
青嶋茂元(愛知産業大学三河高等学校)
光浦弥幸(熊本県立済々黉高等学校)
八百幸大(早稲田大学高等学院)
山室公司(大阪府立摂津高等学校)
岡田哲男(さいたま市立浦和高等学校)
平野秋一郎(メディア教育開発センター)
村松祐子(富士通(株))
山本利一(埼玉大学)
生田研一郎(中央大学杉並高等学校)
学生会員
木村彰宏(東京工業大学)
崔 裕仁(会津大学)
原田 孟(東京大学)
山口偉史(九州工業大学大学院情報工学府)

橋野友里菜(大阪芸術大学)

河合良美(大阪芸術大学)

(3) 新入会員

(2008年6月30日～2008年10月4日現在)

正会員16名

正会員

新地辰朗(宮崎大学)
小澤克彦(聖泉大学)
久保淳(早稲田大学高等学院)
泰松範行(東洋学園大学)
横山政幸(大阪国際大学)
中田知里(大阪府立桃山高等学校)
多賀誠志(富山県立高岡南高等学校)
松山 敦(大阪府立市岡高等学校)
平沢 隼(静岡大学)
森下博正(静岡県立浜松城北工業高等学校)
細野育子(吉祥女子中学・高等学校)
吉野隆(慶應義塾高等学校)
正木嘉宏(東京都立赤羽商業高等学校)
長谷川卓也(京都橘高等学校)
地村茂樹(朋優学院高等学校)
吉江校一((株)コンテンツアンドシステムズ)

(4) 新入会員

(2008年10月5日～2008年12月20日)

正会員6名

正会員

鈴木 潤(同志社高等学校)
太田信宏(文教大学女子短期大学部)
光武 淳(香川県立坂出商業高等学校)
山下明年(香川県立坂出商業高等学校)
松田佑介(香川県立坂出商業高等学校)
松井和宏(日本大学)

(5) 協賛会員(2007-2008年度)

協賛会員A 11社 協賛会員B 1社

(株)アーネット

アライドテレシス(株)

開隆堂出版(株)

(株)教育家庭新聞社

実教出版(株)

日本データパシフィック(株)

日本文教出版(株)

(株)ネットマン

(株)日立製作所

ヒューマンリソースネットワークグループ

プロソフトトレーニングジャパン(株)

マイクロソフト(株)

日本情報科教育学会ニューズレター No. 4

2009年02月05日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2 (新陽ビル7階)

TEL: 03-5155-7576 FAX: 03-5155-7578 E-mail jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長: 高橋参吉(千里金蘭大学)

委員: 上市善章(千葉県総合教育センター), 高橋朋子(武庫川女子大学), 天良和男(東京都立日比谷高等学校), 西田知博(大阪学院大学), 西端律子(畿央大学), 斐品正照(東京国際大学)